

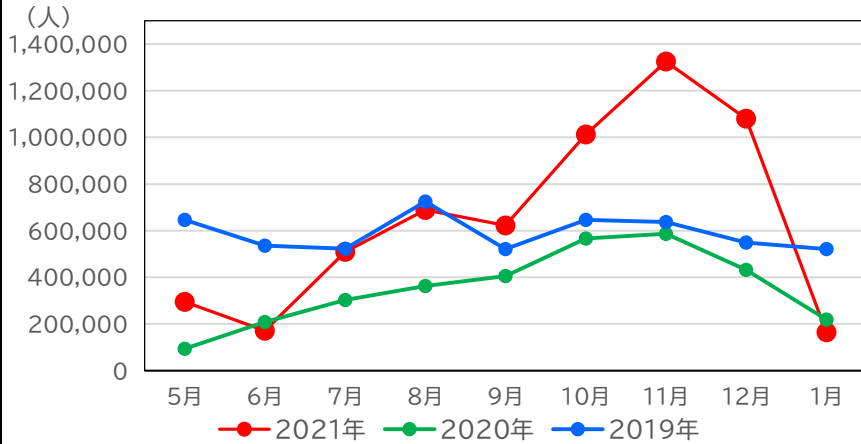
大分県観光予報観光動向レポート 8月号

対象都市	大分県	集計対象期間	2021年8月～2022年1月（6か月間）
比較対象都市	福岡県・長崎県・熊本県		隣接県（指定）

大分県の宿泊動向

■宿泊者数の推移

[この先6か月間の月別宿泊動向（推計値）]



前年比（8～10月）

74.4% 増

前々年比（8～10月）

22.9% 増

宿泊者最大月（2021年）

11月 1,324,858人

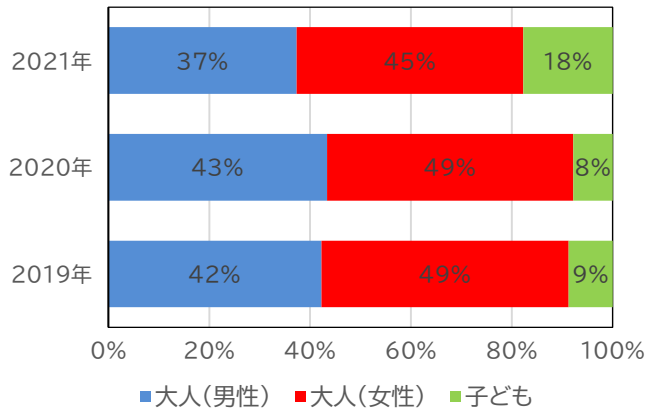
宿泊者最小月（2021年）

6月 171,090人

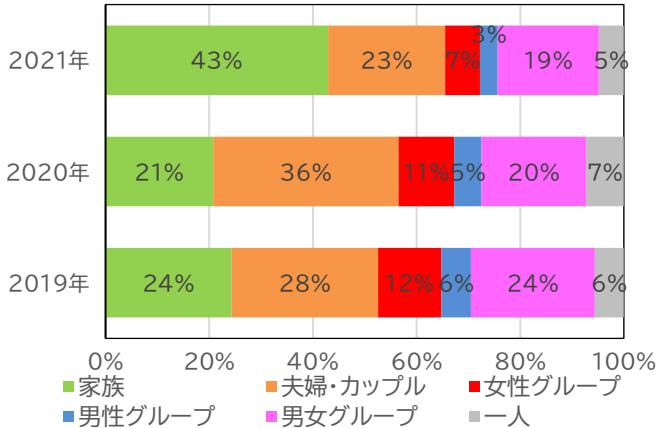
※2021年の数値について、新型コロナウイルス緊急事態宣言等によるキャンセルの数値を随時反映、それにより数値が変化しております。

■宿泊者属性の動向

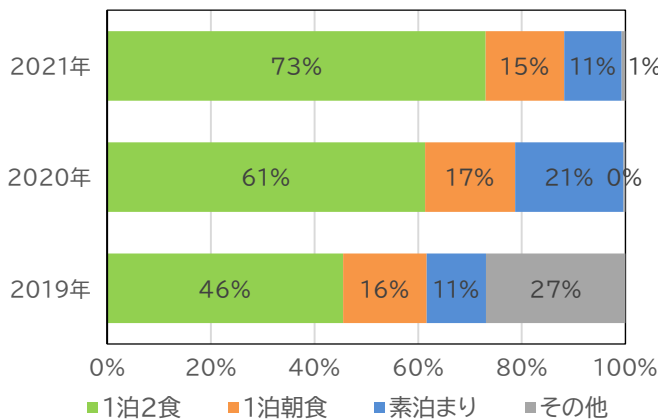
[大人・小人の別（8～10月計）]



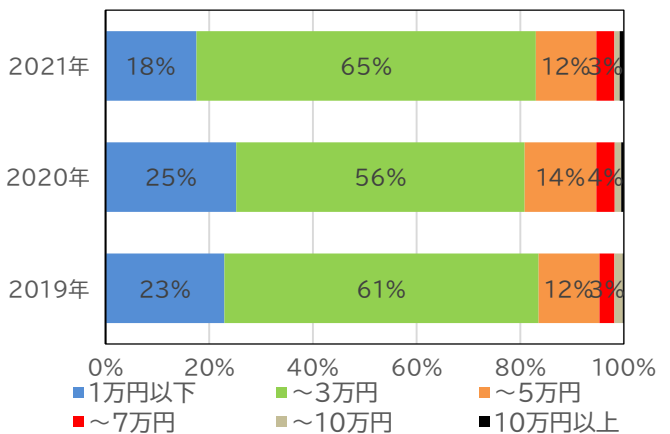
[同伴形態の別（8～10月計）]



[食事条件の別（8～10月計）]



[一人あたり宿泊購入額（8～10月計）]



■当期宿泊者の居住地ランキング ※海外はデータ数小により非表示

国内	順位	都道府県	人数	割合	順位	都道府県	人数	割合
	1位	大分県	254,852	45%	6位	熊本県	13,921	2%
	2位	福岡県	104,269	19%	7位	愛知県	11,483	2%
	3位	東京都	28,980	5%	8位	兵庫県	10,920	2%
	4位	大阪府	23,276	4%	9位	千葉県	10,667	2%
	5位	神奈川県	17,255	3%	10位	広島県	9,886	2%

[大分県の宿泊動向]

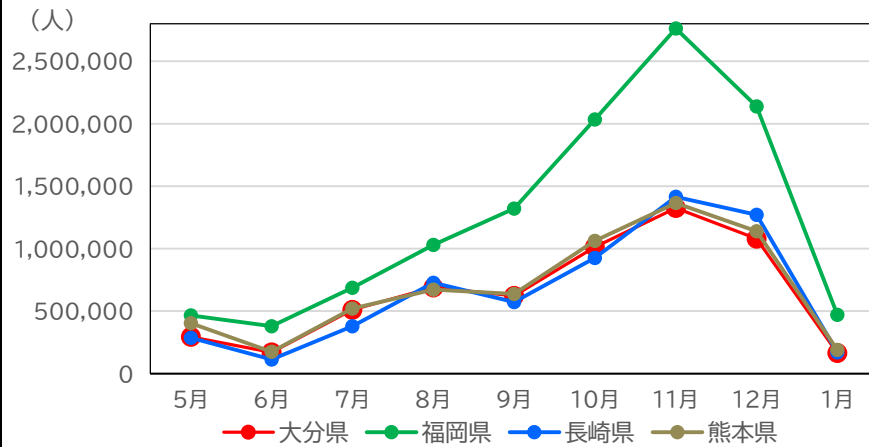
・新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出状況、Go to トラベルの実施状況により、宿泊数は影響しています。
 ・コロナ禍にある2020年の宿泊数は総じて低調、2020年の後半期に回復傾向にあったものの、2021年5月に発出された福岡県での緊急事態宣言後は、宿泊者数は大きく減少しました。6月中旬のまん延防止等重点措置への移行以降、2019年と同水準まで回復の傾向が見られます。
 ・8月以降の予測値では、通常期において最も需要が高まる8月に向けて一定の予約が見られ、増加傾向にあります。さらに、その後の秋期に向けても同様に現時点では多くの予約が見られ、需要は大きく伸びるものと期待されています。但し、7月末から新規新型コロナウイルス感染者数が急激な増加を示しており、予約の解約等により需要は減少する可能性も否定できません。
 ※2021年10・11月の予約は、まん延移行後の予約が非常に多くなっています。

※備考：2021年8月以降の値は、現在の予約状況、及び過去の動向を踏まえた推計値です。予約数の増減に応じて随時値は変化します。

比較対象都市との比較（この先6か月間の宿泊動向）

■宿泊者数の推移の比較

【この先6か月間の月別宿泊動向（推計値）】



推計月平均値（8～10月）

大分県
774,722 人

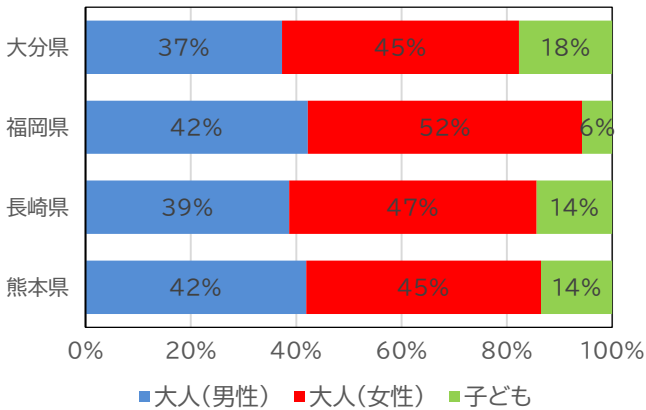
福岡県
1,461,524 人

長崎県
741,771 人

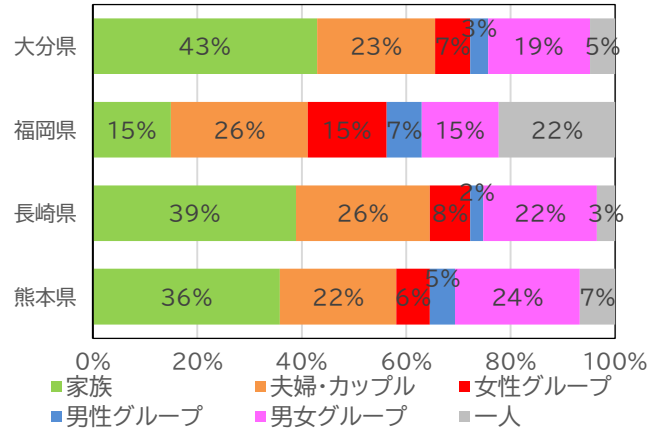
熊本県
790,139 人

■宿泊者属性の動向比較

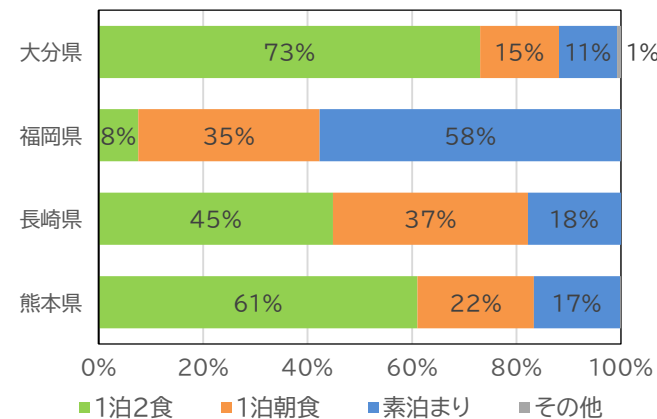
【大人・小人の別（8～10月計）】



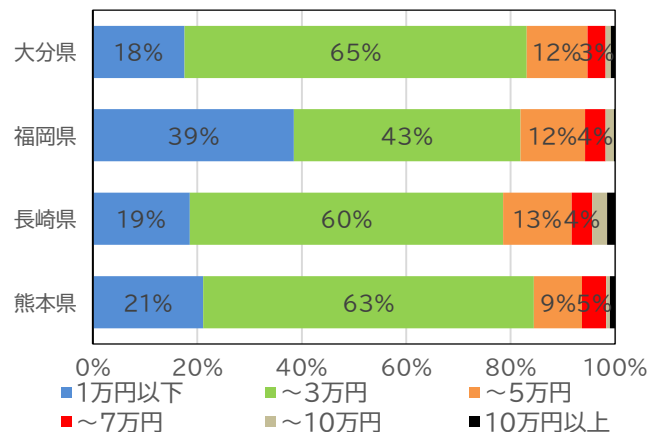
【同伴形態の別（8～10月計）】



【食事条件の別（8～10月計）】



【一人あたり宿泊購入額（8～10月計）】



この先6か月間の宿泊動向の考察

【比較対象都市の動向】

- ・8月以降の宿泊動向は、各県ともに増加傾向に転じています。長崎県・熊本県の宿泊数は、大分県と同様のボリュームで推移しています。
- ・宿泊者属性は、大分県と長崎県、熊本県は同様の傾向にありますが、大分県は、長崎県・熊本県にくらべ、一人利用の割合・素泊まりの割合がやや低い傾向にあり、観光利用に特化している特性が強く現れています。
- ・福岡県は、食事条件において一泊朝食・素泊まりが大半を占め、宿泊購入単価が1万円未満が多く、観光利用だけでなくビジネス利用の割合が高い傾向があります。

【今後の提案】

- ・新規新型コロナウイルス感染者数の増加は、7月末からこれまでにない急激な伸びを示しており、宿泊需要の先行き不透明な部分はあるものの、10月以降の需要を支えている予約者は6月のまん防移行後の予約が急速に伸びており、人々の自粛疲れが色濃く現れています。なお、予約者の大半は大分県居住者となっています。このため、感染対策を十分に実施しつつ、県内の人々にアピールし、需要の顕在化に向けた取組みが望まれます。
- ・夏休みを迎え、都道府県を跨ぐ移動の自粛が求められているものの、県内需要が高い傾向にあることから、人気のある大分県の海・山の食を活かしつつ、新たな視点からのブランディングによる魅力の増進、屋外でのウェルネスやアドベンチャー等の高品質の滞在型商品提供によるwithコロナをテーマとした取組みが望まれます。